



104

みなさまの元気ですか 小田啓二でした!

今年を振り返ると熊本地震や台風18号など、災害による被害が強く印象に残ります。被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

被災地では、ボランティアの活躍への期待度が高まっています。社会におけるボランティアの占める役割は、ますます増えるの見込まれます。犯罪抑止の視点から街を見ても、防犯パトロール、清掃活動、子供の見守りなど街づくりの為に働く人が増え、色とりどりのユニフォームがよく目に留まるようになりました。犯罪の減少には、技術の進歩と共に自主防犯活動の広がりが挙げられるように、今では自主防犯活動は市民権を得たように思います。このような光景を活動が始まった20年前には想像しませんでした。対策が実行され、街が良くなる有様を頼もしく体感してきた次第です。

今年でGA国際本部から東京支部が認定されて20年が経ちました。これまで団体が続けてこられたのは、メンバーの善意や情熱、支援者の皆さまの温かい応援はもちろんです。非武装・非暴力であること、老若男女・人権・宗教・政治を超えた相互理解の心得が徹底されている団体であるからだと思えます。今、世界で取り沙汰されている混乱は、身近な地域社会やNPOでもあり得ることで、改めてGAの果たすべき役割の大切さを認識しましょう。

この20年で街の様子は大きく変化し、チーマーやカラーギャングは、スマホ画面を気にしながら歩く姿に変わりました。以前よりさらに自由だけど冷たいと言われる社会に生きる中で、孤立する人が増えています。

私共GAは、気になる人がいれば声を掛け、おせっかいし、活動を続けてまいります。

去る10月15日に、当団体の監事でもあった砂田向志氏が代表を務めるストップ・ガン・キャラバン隊の記念行事が行われました。銃犯罪で息子さんを亡くされた無念さを抱えながらも、若者には惜しみなくチャンスを与えてくれて、GAにも多くの繋がりを作ってくれました。活動は一区切りとするのですが、「NO, GUN S! NO, DRUGS!」のスローガンを、しっかりと引き継いでまいる所存です。

地道な活動こそが社会が安定し、地域の安全安心に貢献できるのです。これからの20年も皆さまと一緒にGAらしい活動を続けていきたいと願っています。よろしくお願います。ありがとうございます。(おだ・けいじ)

ガーディアン・エンジェルズ 20周年に寄せて



日本ガーディアン・エンジェルズが誕生するきっかけは、筆者と小田理事長の「出会い(であい)」がなければ誕生しなかつたと、言っても過言ではありません。そこで創立20周年に寄せて、22年前の記憶を辿ってみ

1994年8月4日深夜のニューヨーク市で、アパートに帰宅した日本人青年が拳銃強盗に「出遭う(であう)」事件がおきました。「出遇い(であい)」、「出遭う(であう)」と二つの漢字の一つは、事件に「遭う」。一つは当時、ガーディアン・エンジェルズNY市本部長の小田啓二君と、事件がきっかけの「出遇い(であい)」。事件後、NYの邦字新聞の記者が、「殺人現場で、たった一人で『Stop Guns』と書いたプラカードを持って、デモンストレーションしている勇敢な日本人青年がいる」と紹介されたのが彼との奇遇な縁の始まりです。僭越ながら、この銃犯罪に「遭って(あつて)」筆者は長男(当時22才)を亡くしました。

「出遇い(であい)」の漢字は、決められて時間に会う、会議の字意でなく、それまで縁もゆかりもない人と人の「出遇い」の機会が使われることをこの際、覚えてください。

その後、たまたま福岡の筆者を訪れ、福岡市役所の記者クラブで会見に臨んだ時間が、現組織創立のドラマのはじまりだと思えます。1995年3月20日午前8時ごろ東京都内の帝都高速度交通営団(現東京メトロ)で、世界初の化学テロ(地下鉄サリン事件)が発生。乗員乗客の被害数6300余名の重大事件に震撼した報道の瞬間でした。記者クラブは騒然、会見どころではありません。言うまでもありません。続けて10日後の3月30日は、國松孝次警察庁

長官が狙撃事件に遭遇。同年は阪神淡路大震災の他、カルト宗教集団「オウム真理教」が各地で人為災害を起こすなど、日本中を覆う曇天な空気に、小田理事長の脳細胞が敏感に反応をしたのでしよう。日本でセイフティ・パトロール・ボランティア「ガーディアン・エンジェルズ」を立ち上げたいと。これが皆様の参加組織創立の原点です。20年前と現在の情報通信環境は、浦島太郎CM的雲泥の差があります。当然、旧態依然組織では永続価値が失せていきま

す。いつの時代も、人と人の「出遇い」には、人生観まで変えるイノベーション化学因子が内在しています。『常に正しいことをやれ。人が喜ぼうが、あつと言おうがかまわない(マーク・トウエイン)』の言葉を借りるまでもなく、ボランティア活動は経済が伴わない精神論では続きません。新しい時代の奉仕活動を創造し、社会貢献起業の展望を開くのは皆様一人、一人です。

出遇絶景

砂田向志
(ガーディアン・エンジェルズ前監事)

支部設立年

- 1995年……東京(港)
 - 1996年……渋谷
 - 1997年……(新宿)
 - 1998年……豊島
 - 1999年……仙台、武蔵野、関西(大阪、神戸)
 - 2000年……(東大阪)、(和歌山)、(広島)
 - 2001年……柏、(立川)、横浜、(広島東)
 - 2002年……札幌、(八王子)、大和、(京都)
 - 2003年……所沢、松山、福岡
 - 2004年……(苫小牧)、さいたま、川口、松戸、横須賀、岡山
 - 2005年……千葉、北九州
 - 2006年……久留米
 - 2008年……草加、熊本
 - 2012年……土浦
- ※()は統合もしくは休止中

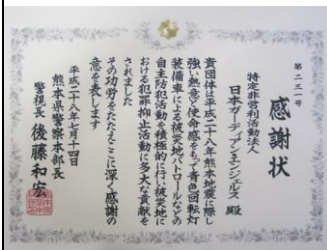
平成28年熊本地震 活動報告



平成28年4月14日に熊本県で発生した最大震度7の地震は、熊本県を中心に大きな災害をもたらしました。以降も大きな地震が続き、人命や家屋、ライフラインの被害は大きく、11月2日時点で死者数130名、重軽傷者は2000名を超え住宅被害は全損を始め170、102棟にのぼりました。

現在では、避難されている方々は100人以下に減り、最大18万人の方々が避難された時と比べ大幅に人数は減りましたが、今もなお、住宅など復興に向けた取り組みが継続されています。

今回の災害を受け、ガーディアン・エンジェルスでは現地でのパトロール活動を開始しました。熊本支部のメンバーも自宅や職場の建物に被害が及び避難生活を余儀なくされる状況にありましたが、近隣支部から青パトが出動しました。普段の活動地域ではないため、青色回転灯は熊本県警から特別許可を貰い、熊本市から阿蘇や御船町・益城町などで地域の方々と情報交換をしながら活動を行いました。窃盗等防止のため、不審車両には声掛けや車両番号を控えて情報提供するなども行っています。



感謝状

熊本県警より感謝状
災害が発生すれば物理的・人的なセキュリティが低下するため、見せる防犯で、パトロールしている事を広く周知する事が大切でした。

エンジェル・オフ・ザ・イヤ 和尚 (草加支部)



神奈川県安全・安心まちづくり交流会講演

「一点から線へ、線から面と広がる」初めて参加された平成20年の第9回総会においてスピー

チをされた草加支部副支部長「和尚」が、今年の第17回総会においてエンジェル・オブ・ザ・イヤーに選ばれました。

草加支部は平成20年4月20日に設立され、和尚は最初の13名の内の1人として発足から参加しています。GAJに入会したきっかけは、自動車被盗された事と住んでいる街にそれまで関心がなかったに気づき、地元町会の防犯パトロールに加わりさらにGAJへ参加されました。そしてこれまでも、「地元の安全を守るのは地元の人間」をモットーに、現在まで2000時間を超える活動をしてきました。年間50回を超える草加駅や松原団地駅周辺での定例パトロール、イベントサポート、子ども達への安全セミナー、地域住民の方々へのセミナーも、初代支部長のカラー、現支部長マリー、事務局長コンサを始めメンバーの方々に恵まれ現在まで活動を続ける事ができました。そして、今回受賞できたのもメンバーの方々のご支援の賜物であり、また、今後とも賞に恥じない活動を、無理なく続けていきたいと意欲をのぞかせておられます。



みんなの谷塚夏祭り

業のメンバーの方々と知り合えたこと嬉しいう経験が一つだけあって、和尚はたつた。くれば、和尚

草加市の街は、南北に東武スカイツリーラインが走っており、草加駅を中心に北は松原団地駅・新田駅、南に谷塚駅があります。冒頭で和尚が述べた「一点から線、線から面と広がる」とは、各点が繋がって線となり、さらに各町会へ広がって面となる事で安全安心な草加市が構築されるという意味です。支部発足当時にメンバーで話し合い「数年先のビジョン・目標」を立てました。そのビジョン・目標のもと、これまで防犯パトロールのほか、草加市内はもとより埼玉県内や首都圏での講演・セミナーに講師として参加し、面を広げている途中です。草加支部で活動時間を記録しているのも、目標を作る事で頑張れるからです。そして、今後の目標は、新しいセイフティ・パトロール・リーダーの育成と認定をし、スムーズな世代交代に臨むこと。さらに、新旧のメンバーで記念すべき草加支部10周年を、誇りを持って開催することです。最後に、これまで活動を通じて嬉しい経験をする事ができましたが、北海道から九州まで全国に展開している各支部の、様々な年代や職業のメンバーの方々と知り合えたこと嬉しいう経験が一つだけあって、和尚はたつた。くれば、和尚

10-4 事務局だより

先日、ある会議に出席してきました。いくつかの町会が実施している防犯対策事例が紹介されたのですが、その中で、恐らく80歳を超えていると思われる男性が発言しました。「私は先祖代々、江戸時代からこの町に住んでおります。昔、私が子供の頃は、家を留守にする時でもお隣にちよつと声をかけるだけで鍵なんかしませんでした。それが今、町内いたる所に防犯カメラが設置されました。」
田舎ならともかく、この方のお住まいは都心のド真ん中です。それでも昔はとてものどかだったんだなあ、と妙に感心してしまいました。

メンバー募集!

ガーディアン・エンジェルスの一員として、活動に参加されたい方を募集しております。16歳以上の方は正会員として、15歳以下の方はジュニア・メンバーとして参加いただけます。

www.guardianangels.or.jp

www.facebook.com/guardianangelsjapan



ご寄附のお願い

ご協力の程よろしくお願ひいたします。

ゆうちょ銀行振替口座

00130 - 9 - 549237

または

三菱東京UFJ銀行 赤坂支店

普通預金 5190124

口座名義 特定非営利活動法人

日本ガーディアン・エンジェルス

